

「文武不岐（ぶんぶふき）」

校長 香山 和昭

記録的な猛暑の夏から少しずつ過ごしやすい陽気となり、気づけば秋の気配や香りがする今日この頃となりました。

さて、9月7日、蓮田市中学生英語弁論暗唱大会が行われ、本校代表の3名が練習の成果を十分に発揮し、立派なスピーチを行ってくれました。自分の思いや考えを英語を使って豊かな表現でアピールしている様子を目のあたりにし、私はとても感動を覚えました。中でも3年生の飯沼柚月さんは2位に入賞し3年連続で埼葛大会に出場しました。おめでとうございます。運動部では、3年生に代わって2、1年生が選手となる新人体育大会の予選が行われました。陸上競技部では7種目で県大会への出場が決定し、県大会常連の男子バレー部は準優勝で県大会への出場権を得ました。また、男子ソフトテニス部は団体戦で優勝、個人戦でも5位に入賞し県大会出場を決めました。どの部も県大会での活躍が期待されるところです。一方、惜しくも敗れた部活や選手もいました。しかし、この機会での学びから課題を発見して練習を強化し、必ずや学校総合大会等で高められた力を発揮してくれると信じています。

さて、文武両道ではなく「文武不岐（ぶんぶふき）」という言葉を知っているでしょうか。両道といたら道を分けることになる。「学問と武道は別物ではなく、どちらがかけてもいけない。『文』も『武』も同じように勉強、稽古をして人として向上しなければいけない」という意味です。まさに、勉強（文）と部活動（武）はわかれず（不岐）、一体であり相乗効果をもたらすものであるということです。ところで、勉強にしても部活動にしても自らの夢や目標が生まれ、高めたい、実現したいという自分の心が働きます、その向上心が自分を動かす原動力であると思います。そして、勉強や部活動等のすべてに「（試験や大会等）どれだけ当日までに準備し臨めたか」が大切であり、学力向上・成果につながるということです。例を挙げれば、皆さんも部活動で目標を決めて大会に向けて練習を重ねています。どれだけという部分は、質の高い学び・練習であるかです。質は目標が明確であり、それがわかるまで、できるまでやり切る心と態度、日々やり続けること、すなわち自分から学び、工夫して改善し解決していくことではないでしょうか。本校は、「かがやきサイクル」に取り組む学校です。本校生徒一人一人が勉強・部活動・行事等の取組で質を高めるため「かがやきサイクル（予習→授業→復習）（準備→大会→課題発見）」をやり切ることで互いの相乗効果が生まれます。これこそが、まさに「文武不岐」と言えるでしょう。実りの秋となるよう願っています。しかし、結果につながらないこともあるでしょう。そこは、しっかり振り返

り、課題を見つけ、改善していくという継続こそが力になります。頑張りましょう。

保護者の皆様、20日（土）文化祭・合唱祭を開催いたします。今年度は一部内容が変わります。この行事を成功させるために、生徒たちは一所懸命練習に取り組んでいます。校長室にも毎日歌声が響いてきています。どうか多くの保護者、地域の皆様の御来場をお待ちしています。今後とも保護者・地域の皆様の御支援と御協力をよろしくお願いいたします。